

無事故願う

安全就労大会

平成十一年度金木町出稼就労者組合総会と安全就労大会が八月十二日、中央公民館で開かれ、お盆で帰省している方や関係者ら約五十人が出席して行われました。

安全就労大会では、出稼ぎ先での事故防止を祈願し、おはらいを行い、鳴海町長らが神殿に玉ぐしを奉典しました。



出席者全員で
安全祈願

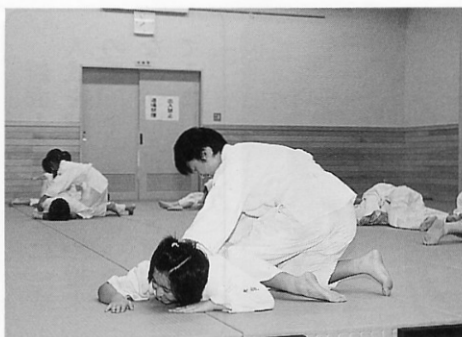
心身鍛える

防犯柔道

スポーツ教室

金木町柔道会（会長＝金本敬夫）による金木防犯柔道スポーツ教室が開催され、幼児・中学生の男女四十人が柔道の基本と礼儀作法などを学びました。

青少年の健全育成を目的に



顔を真っ赤にして、
練習に励む

引き続き、物故者へ黙とうをささげ、あいさつに立った鳴海町長が「出稼ぎも、賃金低下や雇用悪化で大変な時期に直面しているが、人間関係に気を配り、事故には特に気を付けてほしい」と自分自身の体験談を語りながら、参加者を激励しました。

例年よりも参加者が少なく、やや物足りなく感じられた大会でしたが、久々に会う仲間たちと杯を交わすことで近況報告をしたり、ふるさとの話題に感り上がっていました。

行われ、今年で三回目。六月七日から八月九日までの毎週月曜日（十日間）金木警察署内柔道場で基本の受け身と寝技、立ち技の習得に汗を流しました。

最終日の八月九日、柔道場内は、柔道会の方々による熱のこもった指導と子どもたちの威勢のいい掛け声が響き、常に気合いと熱気があふれていました。後日、参加した子どもたち一人ひとりに終了証書が手渡されました。

「横綱の里」北海道福島町で

金小相撲部 団体優勝

北海道福島町鏡山公園相撲場で七月十八日開催された、第一回千代の富士杯争奪相撲大会で金木小学校の選手たちが大活躍しました。

第四十一代横綱千代の山や第五十八代横綱千代の富士の出身地である福島町が、少年相撲の普及を図るため、主に札幌市以南と青森県津軽地区

の小学生を対象に開いた大会で、青森県からは金木小学校のほか中里町からも出場しました。約二十チームが参加した団体戦を制した金木小。白川勝信監督と葛西学コーチ指導のもと、練習に励んできた選手たちは、個人の部でも好成績を納めました。



▲勝利の証、トロフィーやカップを手に胸をはる金木小相撲部員

団体の部(小学校)

優勝

金木小学校 A

野上 怜・津島 祐希・

木下 恭輔・三上 和

人・大橋 聖哉

個人の部

三年優勝

野上 怜

四年優勝

津島 祐希

五年第三位

木下 恭輔

六年準優勝

三上 和人

1999 かなぎの夏

暑い日が続いた今年の夏。町内各所で『夏』を彩るさまざまなイベントが開催されました。

役場前の特設会場では、八月一日に「津軽の火祭り」が催され、金木町の郷土芸能と秋田県の大館曲げわっぱ太鼓の躍動感あふれるステージが披露されました。途中からどしゃぶりの雨になったものの大館曲げわっぱ太鼓の演奏はいつそう盛り上がり、演奏者と観客が一体となったステージは、汗と雨に濡れながら最後まで行われました。



「金木夏まつり」では、南中の生徒と嘉瀬奴踊り保存会らによる奴流しパレード、商工会青年部のみこしが祭りを盛り上げ、斜陽館や物産館を訪れていた観光客らも沿道から大きな拍手を送っていました。また、夜は町内の子どもたちや帰省中の家族連れなどが大勢参加したねぶた運行が行われ、長い行列とともに勇壮なねぶたが町内を練り歩きました。

その他にも「残暑DE祭り D.A. チャリティービアガーデン」が催されるなど、たくさんさんのイベントが行われ、夏を満喫する人たちににぎわいました。



物産館前

祭りの華

斜陽館前

国民年金情報



老齢基礎年金の 繰り上げ請求は 慎重に

慎重に

国民年金の老齢基礎年金は六十五歳からの支給が原則ですが、希望すれば六十歳から六十四歳の人でも、繰り上げて受け取ることが出来ます。ただし、繰り上げて年金を受けると、六十五歳から受ける場合に比べて、次のような不利な点があります。

- ①繰り上げ支給の申請をしたときの年齢によって、受ける年金が一定の割合で減額され、その率は六十五歳を過ぎても変わらないので、生涯減額された年金を受けることとなります。
- ②また、繰り上げ支給の請求書は、一度受理されると後から取り消しや変更はできません。
- ③繰り上げて年金を受けていると、特別支給の老齢厚生年金や退職共済年金は、六十五歳になるまで支給が停止されます。
- ④繰り上げて年金を受けた後、就職して厚生年金などに加入するとその間は支給が停止されます。
- ⑤繰り上げて年金を受けてしまうと、その後事故や病気で障害をもった場合でも障害基礎年金を受けることはできません。
- ⑥繰り上げて年金を受けた後、夫の死亡により遺族基礎年金の権利が発生しても六十五歳になるまでの間は、繰り上げ支給の老齢基礎年金とどちらか一方の年金しか受けられません。

繰り上げ請求したことを後悔することのないように、事前によく考えてから請求をして下さい。

太宰をしのぶ 今、なぜ太宰か(2)

金木町太宰会々長

木下 巽

「太宰治といえば、：最初に持った印象が邪魔をして、なかなか彼の作品の世界を楽しめない人は少なくないはずだ。：しかし、私は学校単位で太宰の全集を一冊買わされいつも枕元に置いて読むようになってからは、少しずつではあるが、太宰の作品の面白さがわかってきた。」『新樹』第一号に、金高三年野村美鈴さんは全集を読んで太宰文学にふれます。今回は、全集について記してみます。

生前企画の全集

太宰さん生前の、昭和二十二年十月ころ、八雲書店と実業の日本社の双方から「太宰治全集」刊行の申し入れがあり、結局、八雲書店に決定します。同年十一月に入ると、八雲書店と造本や巻数・創作年表などについて検討します。また、巻頭に載せる口絵写真も、当時の金木郵便局長津島賢輔氏に依頼しています。

賢輔氏への書簡

「こんど太宰治全集が出る事になって、その全集の一卷の巻頭に寫眞が出ますが、東京に於ける私の寫眞だけで

は面白くないので、金木の生家の寫眞、それから幼時の寫眞などもいれたいといふ出版社のほうで、撮影に金木へ行つてもいいと言つてゐるので、それもたいへんでせうから、取敢へず、あなたにお願いして次の寫眞を送つていただきたいのです。(略)本は一冊二百圓くらゐの豪華版になる筈で、賢輔さんに御禮として、毎巻出版される度に、かならず、全巻贈呈する事を約束しますから、どうか一肌ぬいで御助力たのみます。(昭和二十二・二十一)父母・兄・生家・庭・芦ノ湖・幼時・中学・高校・大学時代の写真を具体的に依頼しています。

家紋を表紙に

全巻の編集は太宰さんが自分の手で行い、A5版固表紙カバー装の本の、その白地の表紙に、生家の「鶴丸」の家紋を型押ししてほしいと強く要望したということです。家紋で表紙を飾った作家はそれまでなかったと言われている。



▲生前企画の「家紋」入り八雲書店版「幻」の『太宰治全集』

す。また決定版と銘うっています。野原一夫氏は「決定版と銘うったこの全集によって自分の全業績を完結させようとしたのだらう。：太宰さんは故郷へ、金木へ、津島家へ帰つていった。」と書いています。また相馬正一氏は「戦前・戦中・戦後を通して文字

どおりペン一筋に生きてきた自分の業績を誇る気持ちである。もう一つは、衣錦還郷の念が裏返した意識である。つまり、太宰さんは、生前に個人全集を持つことの稀だった当時において、作家としての実力を誇示することで家郷への体面を保とうとしたのである。」と述べています。

完結した全業績を集大成してこそ全集と呼べるのですが、生前の作家が「全集」を出すということは数少ないということ。野原氏は「まして、まだ四十歳前の、旺盛な文筆活動を続けている最中の太宰さんのような作家が全集を出すとは。：」と、語ります。

八雲書店版全集

昭和二十三年四月二十日、鮮やかな金で『太宰治全集』と箔押しし、左下に「鶴丸」の家紋を型押しした全集は、第二巻『虚構の彷徨』を第一回配本として刊行を開始します。第二回配本『二十世紀旗手』が刊行される前に太宰さんは急逝します。八雲書店は急速増刊の計画を立て、全十六巻を全十八巻とし、「書簡集」「未発表作品・補遺」の二巻を加えます。しかし、この全集は八雲書店倒産のため、昭和二十四年十二月、第十四巻配本(第十五巻「人間失格」)をもって中絶になります。

私は五年前、この全集十四巻を古書店で見つけ、十二・十六・十七・十八巻が欠落のため値引き交渉をして入手。その後の調査で全巻とわかり、今では六百冊を越える太宰蔵書・評伝・研究書の中で「幻の全集」として自室の書架を飾り、輝きを見せています。この全集企画が、のちに発刊される筑摩書房全集に影響を与え予想以上に売れます。

精神の技師

八雲書店編集部部長の亀島貞夫氏は「太宰治の文学を正當に理解し、評価することは今日もとより肝要である。：作家は人生の教師であり、精神の技師であるという。太宰もまた、もとより、この例外ではない。私は彼の作品が多くの人々によって読まれることを望む。無用有害の伝説によって汚染されることなく、一個独立の文学作品として読まれることを強く望む。健全正常な人間の正當な評価に十分耐えうるものである故に。：」(昭三十八)と強調しています。

金木町を訪れた大館の阿部宗左工門さん、新潟の五十嵐みさをさんは、太宰作品を読んで心が癒され救われたと語っています。作家の陽羅義光氏は、若いころ病床で『人間失格』を読んで感銘。「こんな僕でも生きてゆける」と救われ、命の恩人、昭和最大の小説家を再発見したい思いから『太宰治新論』を著述しています。まさしく「精神の技師」と言われる所以でしょう。

脳卒中について

内科 井沼洋

高血圧や糖尿病、高脂血症などは、日常生活活動に大きな支障をきたすことはありません。しかし、脳卒中は日本人の死因の約一六パーセントと高く、一命をとりとめたとしても片麻痺、言語障害などの後遺症を残すことがあり、日常生活活動にも支障をきたします。今回は脳卒中についてお話ししたいと思います。

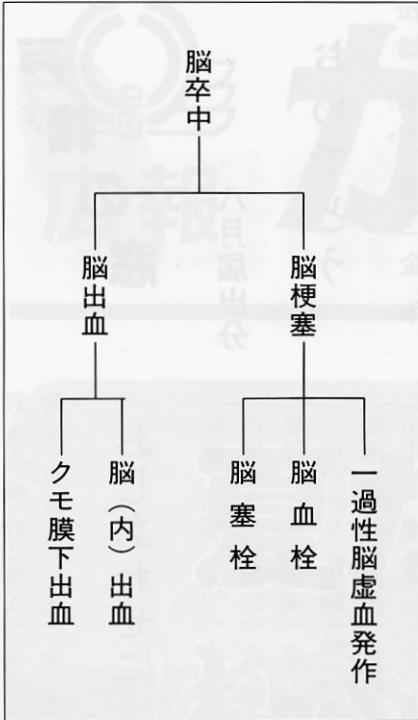
中のおおまかな分類を図に示します。

— 一過性脳虚血発作 —
一時的に脳の血管が詰まって再開通したもので、軽い麻痺を起こすがすぐによくなくなります。(二十四時間以内)

— 脳血栓 —

前駆症状として一過性脳虚血発作が認められることがあります。安静時の発症が多く手足のしびれや麻痺で気づくことがあり、徐々に症状が進行することがあります。

脳卒中は脳の血管が詰まる脳梗塞と、脳の血管が破れる脳出血に大別されます。脳卒



— 脳塞栓 —

主に心臓にできた血栓が流れて脳血管を詰まらせることが原因で、発症は突然であり片麻痺や言語障害の症状が出現します。

— 脳(内)出血 —

脳の実質に出血するもので活動時の発症が多く、急に頭痛や片麻痺、言語障害などで発症し、しばしば意識障害を伴うことがあります。原因として高血圧がもっとも重要です。

— クモ膜下出血 —

脳を包むクモ膜の下に出血するもので、多くは血管にできたコブ(動脈瘤)の破裂によります。突然の激しい頭痛で発症し嘔気・嘔吐を伴うことが多く、片麻痺などの局所の神経徴候を伴うことはまれです。

〈脳卒中の予防について〉

脳の動脈硬化による脳血流の低下が脳の器質的変化をひきおこし、いろいろな自覚症状(頭痛、頭重、めまい、手足のしびれ・脱力など)をひきおこすと考えられています。しかし、これらの症状は脳の循環障害以外のいろんな病態でもみられることがあり、前

記症状は脳の障害というわけではありません。脳卒中のもっとも重要な原因は高血圧です。最近脳出血が減少しているのは、高血圧治療によるところが大きいといわれています。

高血圧や糖尿病、高脂血症は動脈硬化を促進する原因となり、多くは生活習慣の偏りによって起こります。たとえば高血圧は塩分のとりすぎ、運動不足、肥満、アルコールの飲み過ぎ、ストレスなどが関係しています。また、糖尿病や高脂血症などは脂っこいものにとり過ぎ、食べ過ぎ、肥満、運動不足などが関係しています。タバコも動脈硬化の大きな原因のひとつです。

高血圧や糖尿病、高脂血症のみられる人は生活習慣を改善するとともに、それでもコントロールが得られない場合には病気の治療をつづけ、動脈硬化の促進をおくらせ、脳卒中の発症の予防につとめる必要があります。

〈脳卒中再発の予防〉

不幸にして脳卒中になり急性期を脱した人は、再発予防につとめなければなりません。なぜなら脳卒中は再発するたびに後遺症が強く残るからです。原因となった疾患の治療再発予防の薬物療法及び生活習慣の改善が大切になります。

以下に脳卒中の予防及び再発を防ぐための日常生活での注意点を記して、この紙面を終わりとします。

- 塩辛い食品はひかえ、みそ汁もうす味にする。また、めん類のスープは全部飲まないようにする。
- 間食や偏食をさげ、栄養バランスのとれた食事をとる。牛肉や豚肉などはひかえ、魚や野菜を多く食べる。
- 禁煙を実行しアルコールもひかえる(日本酒なら一日一合、ビールなら中ビン一本まで)。
- 水分(お茶や水など)は十分にとる。
- 規則正しい排便を心がける。
- 熱い風呂に長く入るのはさける(適温は四十度程度)。
- 毎日軽い運動をする。
- 十分な休養と睡眠をとる。
- 病院でもらった薬は指示を守って服用する。また薬についてわからないことや聞きたいことがあるときは、担当の医師や薬剤師に尋ねる。

戸籍の窓

八月届出分

おめでとう

松橋 優樹(健一) 金木
 神川 凱都(一登) 嘉瀬
 白藤 虎太(裕治) 川倉
 工藤 莉菜(隆樹) 金木
 斎藤 永遠(裕一) 金木
 工藤 愛莉(隆史) 金木

鈴木 夢叶(靖人) 喜良市
 角田 真衣香(和志) 金木

おしあわせに

佐藤 治彦(功) 中里町
 白川 なぎさ(博昭) 金木
 黒川 保(武美) 嘉瀬
 一戸 ゆかり(忠輝) 鱈ヶ沢町
 飯塚 浩司(俊雄) 青森市
 田中 恵(勇治) 金木

おくやみ

前田 正光(75才) 神原
 田中 恒一(58才) 蒔田

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

竹内 ヨソ(89才) 藤枝
 石戸 谷運太郎(71才) 神原
 桑田 長作(85才) 喜良市
 岡田 重勝(83才) 蒔田
 中谷 甚四郎(91才) 川倉
 秋元 ヨシ(94才) 川倉
 澤田 義常(71才) 嘉瀬
 荒井 さだ(81才) 川倉
 桑田 直治(71才) 喜良市
 鳴海 みな(73才) 嘉瀬
 對馬 友一(78才) 金木

はじめまして



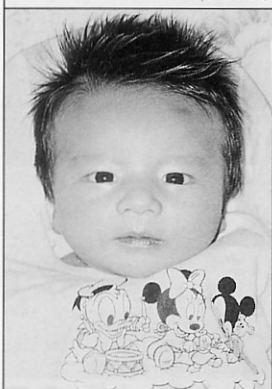
虎太

健康で優しい子に育ってね
(両親より)



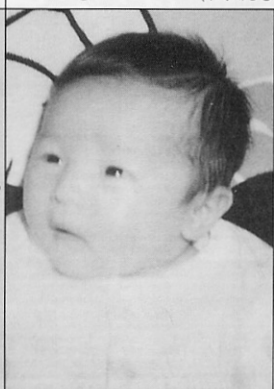
莉菜

元気で素直な女の子に育ってほしい
(両親より)



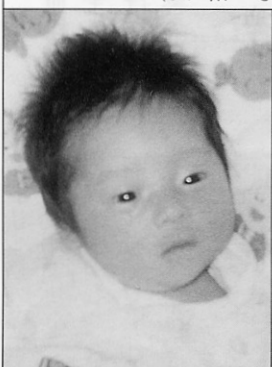
永遠

元気に育ってほしい
(父 裕一より)



夢叶

明るい美人になれ
(父 靖人より)



真衣香

真衣香ちゃん、もう少し大きくなったらお兄ちゃんたちと一緒に遊ぼうね
(兄 りゅうと・かいとより)

介護保険制度 住民説明会

平成十二年四月からスタートする「介護保険制度」の住民説明会が八月二十三日から九月七日までの期間、町内各所で開催され、参加した町民らは、ビデオやパンフレットを見ながら町担当者から説明を受けていました。



※介護保険制度についてのお問い合わせは健康福祉課(保健センター) ☎53-2111 (内線275) まで。

人口と世帯

	8月末現在	前年同月比
男	5,817人	△ 45人
女	6,366人	△ 83人
計	12,183人	△ 128人
世帯数	3,952	14

伝言板

- ◎届いています
・八月四日
金木 ショッピングセンターノア駐車場
- ・八月六日
黒の財布
三軒町
本3冊
(小説、単行本、月刊誌)
心当たりの方は、金木警察署 落し物係まで。
- ◎モルモットを欲しい方
無料で差し上げます
山中さん ☎52-5647 まで。
- ◎係から
このコーナーを利用した方は役場企画観光課まで。